

1. 件名：国内原子力施設における蓄電池の劣化に関する原子力エネルギー協議会等との面談

2. 日時：令和4年12月22日（木）14：00～15：00

3. 場所：原子力規制庁8階会議室

4. 出席者：

原子力規制庁 長官官房技術基盤グループ

技術基盤課

システム安全研究部門

佐々木調整官、片岡専門職

池田技術研究調査官、皆川技術研究調査官

北海道電力株式会社 原子力事業統括部原子力設備グループ 副主幹

東北電力株式会社 原子力部 副長、他1名

東京電力ホールディングス株式会社

原子力運営管理部 保守管理グループ 副長、他2名

中部電力株式会社 原子力本部原子力部運営グループ 課長、他1名

北陸電力株式会社 原子力本部 原子力部 原子力設備管理チーム 課長、他1名

関西電力株式会社 原子力事業本部 保守管理グループ マネージャー、他2名

中国電力株式会社 電源事業本部 原子力設備グループ マネージャー、他1名

四国電力株式会社 原子力部 核物質防護・工事グループ リーダー、他2名

九州電力株式会社 原子力発電本部 原子力設備グループ 課長、他2名

電源開発株式会社 原子力技術部 設備技術室 総括マネージャー、他1名

日本原燃株式会社 再処理事業部 電気保全部 電気保全課 課長、他2名

原子力エネルギー協議会 副長

（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨：

- 令和4年9月15日の面談において、原子力規制庁より、各電力事業者が実施した国内原子力施設における蓄電池の劣化管理に関する実態調査結果に関して、電池工業会規格と異なる運用については、その理由を説明するよう申し伝えた。
- ATENA より、上記を踏まえ、各事業者における蓄電池の保守管理について、配付資料に基づき、説明があった。
- 原子力規制庁より、容量試験の過去実績について、記載を充実し説明するよう申し伝えた。
- ATENA より、対応する旨、発言があった。

6. 配付資料：

- 資料 「国内原子力施設における蓄電池の劣化管理」に関する実態調査結果について（追加回答）